

防災士が
推奨する
蓄電池

[キューボックス]

CUBOX

災害対策は、お済みですか？

移動式リチウムイオン蓄電システム



防災 対策

災害時に備えて 最低限の電源確保をおすすめします。

災害時に必要なものは、水・食料・毛布等を思い浮かべますが、忘れてはいけないのは電源確保です。

[理由 1] SOSを呼ぶための(拠点間の連絡)の通信機器用のバックアップ電源

[理由 2] 正確な情報を迅速に入手するため(二次災害から免れるため)の情報端末用のバックアップ電源

[理由 3] 精神的な支えとなる照明器具のバックアップ電源

電源確保をするためにCUBOXの備えをおすすめします。



通信機器



携帯電話・スマートフォン
衛星電話・無線機 など

約10W

情報端末



パソコン・テレビ・ラジオ
など

約70W

照明器具



各種照明器具
など

約20W

* CUBOX 3.3kWh使用時

30^{時間}使用可能

事務棟の予備電源
(通信機器・情報端末・照明等)として

災害時には、社員の安否確認・拠点間の連絡・お取引先への連絡・情報収集・照明(安心)に必要な最低限の電源の確保が必要。

商業ビルやビルのテナントには自家発電機が設置してありますが、エレベーターと非常用スプリンクラーにしか通電されていないケースや自家発電機から通電されている場所が限られているため、室内でも使用できる移動式蓄電システム「CUBOX」を導入をおすすめします。



移動式蓄電システム 『CUBOX』の必要性

2011年に発生した東日本大震災により、企業・自治体の防災対策、BCP（事業継続計画）対策に対する考え方は大きく変わりました。例えば東京都では、災害発生時に帰宅困難者となる社員が、3日間にわたり会社に待機できるよう備蓄をする条例（帰宅困難者対策条例・努力義務）が制定されました。災害時の備蓄といえば、水や食料、毛布等を思い浮かべますが、電気機器に囲まれた生活をしている我々にとっては「電源の確保」も不可欠になっています。

従来、防災・BCP対策（電源の確保）といえば、自家発電機 or ポータブル発電機でしたが、東日本大震災を経験し

「自家発電機は絶対に稼働する」という神話は崩れました。

今まで信頼度の高かった自家発電機の約3割が稼働しなかったのです。理由としては、地震の揺れによる安全装置の稼働・メンテナンス不足によるものが大半でした。また、ポータブル発電機を備えていてもエンジンをかける時にグリップを勢いよく引かなければならず、女性や年配者では簡単に稼働することができず使用できなかったケースもありました。これに対して移動式蓄電システム「CUBOX」は、スイッチひとつで稼働させることができるので、どなたでも簡単に電源を確保することができます。今後の防災・BCP対策（電源の確保）としては自家発電機・ポータブル発電機以外にも最低限の電力を確保する為に、誰でも使用できる移動式蓄電システムの導入は必須です。

今後の防災対策は

ポータブル発電機 + CUBOX セットでの使用を おすすめします。

昼間、稼働させているポータブル発電機の 余剰電力で移動式蓄電システム「CUBOX」を充電

ポータブル発電機(1.6kVA使用場合)を稼働すると約1600Wを発電し続けます。しかし、実際に使用している電力量は微々たるものです。例えばバルーン投光器(400W)のみの使用とすると残りの約1200W分は消費できません。

(最新式ポータブル発電機の場合は省エネモードもあるため、多少は発電量を軽減しますが、それでも余剰電力がある)

※CUBOXは400Wの電力で充電可能 / ※インバーター発電機で充電してください



CUBOX HP



CUBOX [2.2 kWh]



CUBOX mini



Why CUBOX?

移動式リチウムイオン蓄電システム
CUBOX が選ばれる理由

01

カンタン操作

女性やお年寄りでもスイッチひとつで安全かつカンタン操作。

02

室内で利用できる

一酸化炭素や異臭を出さないため、室内でも使用可能。

03

騒音がない

静音設計のため、夜間でも使用できる。

04

電源の波形が安定

商用コンセントよりも波形が良い（正弦波）ため、精密機器に使用できる。

05

メンテナンスが簡単

誰にでもできる簡単メンテナンス。

06

信頼の日本製

信頼の日本製リチウムイオン電池・電源を採用

CUBOX TRUCK

雨天でも瓦礫の上でも泥濘でも移動可能。救護資機材を運ぶこともでき、ベニヤ板やホワイトボードを載せればテーブルや無線機置場にもなります。



寒冷地仕様
防寒対策
結露対策



CUBOX MINI BOX (ダンプラVer/FRP Ver)

お客様のご利用シーンに合わせて、CUBOX mini専用ケースをご用意しました。野外利用の際に開発されたFRP製ケース(MINI-BOX-F)と備蓄用に重ねて収納できるダンプラ製ケース(MINI-BOX-D)。

耐衝撃を考え、クッション材を使用しております。



CUBOX PV ver

「CUBOX HP + 太陽光発電セット」誕生。災害時、昼間はポータブル発電機の余剰電力で充電し、夜間は騒音対策・燃料の省エネを考え、CUBOXを使用。万が一、燃料が底を尽きた場合は移動式ソーラーパネルで充電を想定。※1日でCUBOX HP(3.3kWh)を半分充電可能。



QLIGHT

[360°方位LEDライト]

QLIGHT [35W] × CUBOX [3.3kWh]

約100時間使用可能

避難所での夜間の騒音問題を解決

夜間20:30以降は発電機の停止を求められるため、QLIGHT × CUBOXで騒音問題を解決。

室内・テント内での使用が可能

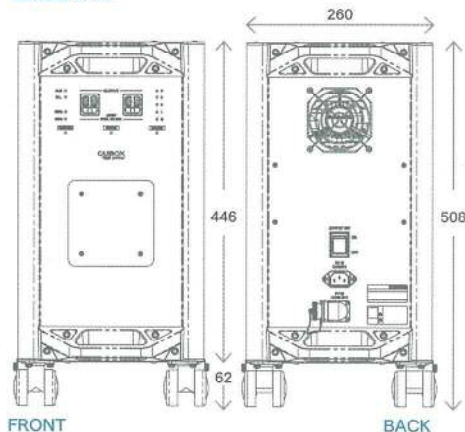
避難所として指定されている
体育館やテント内での使用も可能に。

灯具寸法	φ100 × 363mm
外観寸法[mm]	264mm × 290mm × 140mm
質量[kg]	6kg (スタンド部 7kg)
定格消費電力[W]	35W ~ 75W
防塵防水性能	IP65相当
スタンド組立時[高さ]	1210mm ~ 1930mm

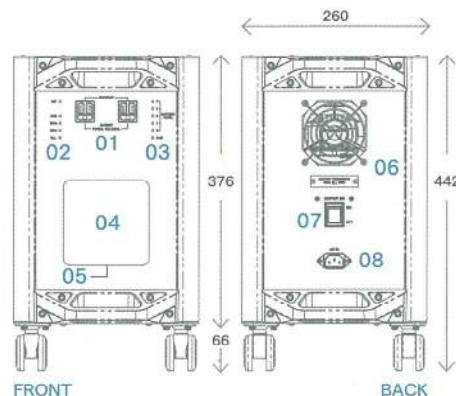


SPEC

CUBOX HP



CUBOX (2.2kWh)



※CUBOX 3.3kWhは高さ512mm

01 ACアウトレット(AC100V out)

02 INV インバーター給需表示

ALM アラーム表示

※ 機器異常時

温度異常時

電池電圧異常時 点灯

50Hz 出力周波数表示 50Hz

60Hz 出力周波数表示 60Hz

O.L. オーバーロード表示

※ 過負荷時(約1.1kVA以上時点灯)

03 F,3,2,1,E バッテリー残量表示

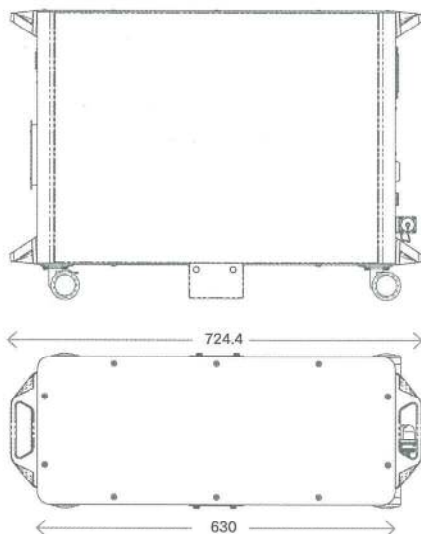
04 吸気口

05 LEDライト(停電時点灯)

06 排気口

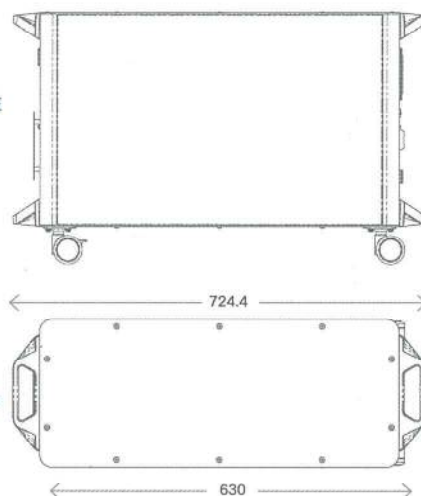
07 主カスイッチ

08 ACインレット(AC100V in)

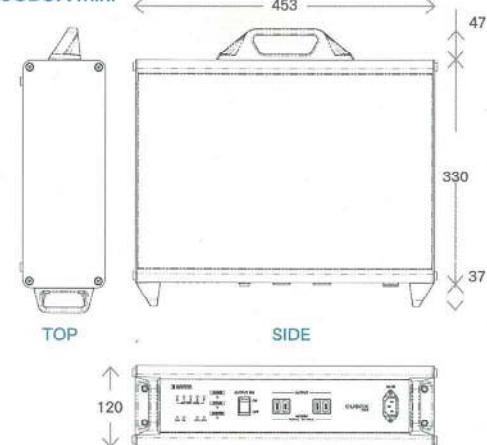


SIDE

TOP



CUBOX mini



TOP

SIDE

品名	CUBOX mini	CUBOX 2.2kWh	CUBOX 3.3kWh	CUBOX HP
品番	IPAC-D-500-U-LiT1	IPAC-C-1000-U-LiT4-A	IPAC-C-1000-U-LiT6-A	IPAC-C1500-U-LiT6-A
蓄電容量	550Wh	2200Wh	3300Wh	3300Wh
出力	AC100V			
定格出力	500VA	1000VA		1500VA
入力	AC100V			
充電時間	約6時間(80%)	約8時間(80%)	約12時間(80%)	
使用条件	屋内専用:室温 0℃～+40℃/湿度20%～85%(但し結露無きこと)			
切替時間	10ms(0.01秒)以内 ※ACスルー⇒インバーター出力切替時間	20ms(0.02秒)以内 ※ACスルー⇒インバーター出力切替時間		
外形寸法	(突起物を除く) W120×D330×H445	(突起物を除く) W260×D630×H442	(突起物を除く) W260×D630×H512	(突起物を除く) W260×D630×H508
質量	16kg	53kg	68kg	68kg

蓄電池のリサイクルについて

この製品にはリチウムイオン電池が内蔵されております。貴重な資源の有効利用および地球環境保護のために、ご使用済みリチウムイオン電池のリサイクルにご協力お願い致します。電池のリサイクルおよび蓄電の廃棄に関しては、お買い上げの販売店、または施工店へお問合せください。

保証期間 製品保証1年を過ぎると有償修理となります。

【キューボックス】

CUBOX

【製造元】株式会社ナユタ

〒431-3103 静岡県浜松市東区常光町398 TEL:053-434-8902

【販売元】トーカドエナジー株式会社

〒145-0062 東京都大田区北千束1-4-6 TEL:03-5701-1117

お問合せ

記載内容は、2017年4月現在のものです。